

UNITENT WIDE 取扱説明書

この度は本品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本品を安全にお使いいただくためにご使用前に本取扱説明書を熟読の上本書の使用方法に従ってお使いくださいようお願い申し上げます。なお、本書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。



ユニテントワイドを安全にお使いいただくために下記の要領を必ずお守りください。

警告 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ①ユニテントワイドは大雨・強風・雪・雹・雷などの天候不良時、または設営期間中にそれが予想される場合は、危険ですので使用をお控えください。テント本体の倒壊や、風に飛ばされる・水がたまるなどの恐れがあり、人が障害を負ったりものを破損する恐れがあります。なお、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないで下さい。
- ②ユニテントワイドを改造したり、加工しないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が障害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。
- ③設営時は、ユニテントワイドが水平になるように設置してください。ロープとペグなどでテント支柱を固定してください。不安定な状態では支柱に手や足を挟まれる等、人が障害を負ったり、物が破損する恐れがあります。なお、固定した後でも、突風による本体の倒壊などで人が障害を負ったり、物が破損する恐れがあります。
- ④ユニテントワイド使用時は無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- ⑤ユニテントワイド本体・及びクロスには電源・火気類を近づけないでください。フレーム・支柱からの感電や火災発生の恐れがあります。
- ⑥設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。
- ⑦ご使用前に、本取扱説明書を熟読の上、必ず一度組立テストを行ってください。その際、付属品の不足や不良が発見された場合はお求めになった販売店にお申し付けください。
- ⑧ユニテントワイドの使用・保管はお客様自身で管理してください。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ⑨設営・収納作業時は手や指を挟む恐れがありますので、作業時は軍手などを着用して、怪我や事故のない様に十分にご注意の上、作業を行ってください。
- ⑩設営・収納作業は安全のため、必ず2人以上で行ってください。また、フレームを設営・撤収する際にはフレームに負荷がかかりますので無理をせず、ゆっくり行ってください。

注意 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、及び物的損害が発生する可能性が想定される内容を示します。

- ①ユニテントワイドには絶対に登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊るしたりする等過度の負担をかけるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり大変危険です。
- ②ユニテントワイドはアルミパイプを使用しています。手や足を挟んだり、足元に落とすと大変危険ですので、取扱いには十分ご注意ください。

素 材	付 属 品
フレーム : アルミ テント布 : ポリエステル (斜光加工済)	ロープ (4本) ペグ (8本) 収納バッグ

型 番	使用時サイズ(mm)	収納時サイズ(mm)	重 量
UTW-1212	1200 x 1200 x 2200	220 x 220 x 1130	約 7.8 kg
UTW-1818	1800 x 1800 x 2200	240 x 240 x 1130	約 9 kg
UTW-1827	1800 x 2700 x 2200	220 x 240 x 1130	約 9.4 kg

生産国：中国

ユニテントワイドの保管について

ユニテントワイドを保管する場合、直射日光を避け、風通しのいい湿気の少ない場所に保管してください。

当製品についてのお問い合わせは
お求めになられた販売店、又は右
記製造元までご連絡ください



ユニトレンド株式会社
UNITREND CORPORATION
〒277-0023 千葉県柏市中央2-9-16
TEL:04-7167-0501 FAX:04-7167-0504
<http://www.unitrend.co.jp>

ユニテントワイドを組み立てる



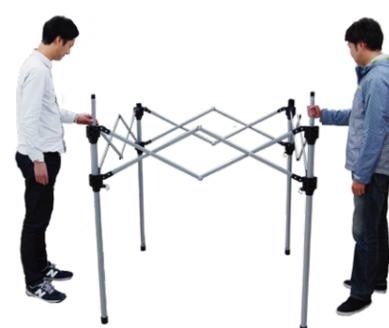
①フレームAを持って
ゆっくりと広げます。



②2/3程度広げた状態にします。



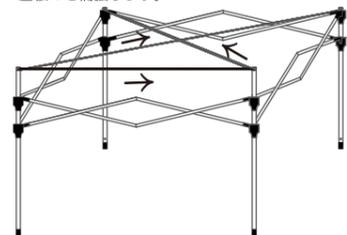
③延長フレームをフレームAに
はめ込みます。



④上部のジョイントパーツの
キャップを左回りに回して
外し、ネジ部分に補強ベルト
の穴を通してキャップをします。



補強ベルトC (長) はフレーム間をクロスさせて
屋根のを補強します。



補強ベルトD (短) は延長フレーム間を
補強します。(赤い印がついているも
のが補強ベルトD (短) です)

⑤そのままテント布をフレームに被せます。
出入口 (ジッパーがついている面)
が延長フレームがある面に来るように
被せてください。



⑥フレームAにフレームBを差し込みます。
フレームBのスナップボタンが、フレ
ームAの穴に「パチン」と入るまでしっか
りと差し込んでください。



⑦フレームBを4本とも差し込み終わったら、テントを
おこし、ジョイントパーツを上
に引き上げてテントを
完全に広げます。



ジョイントパーツ

※注意※
テントが完全に広がると「カチッ」という音がして、ジョイントパーツがフレームに固定されます。完全に広がっていない場合は、ジョイントパーツが下に下がり、テントが閉じてしまいますので、しっかりジョイントパーツを上にあげて、固定してください。

⑧テント布付属のマ
ジックテープをフレ
ームA・Bに巻
きつけて留めます。

※マジックテープは
それぞれフレーム
上部、フレームの
中心、フレーム下
の3か所づつ、
計12箇所につい
ています。



⑨補強ベルトを調節してたるみをとります。



入口カーテンは
マジックテープ
で固定すること
も可能です。



⑩必要に応じて付属の
ロープとペグでテント
を固定します。砂袋を
入れてしっかりと固定
したら完成です。

フレームBの受け皿には
穴が開いているのでペグ
を直接打ち込むことが
できます。



◇ユニテントワイド組立上の注意◇

- ①組立前に梱包内容がそろっているか、フレームに破損がないか、テント布に縫製不良がないかなどを必ず確認してください。ご使用後のクレームや不良品につきましてはお承りできません。
- ②テントの組み立ては必ず大人二人以上で行ってください。テントの設置は、平坦な場所で周りの安全を確かめてから手や指を挟まないよう、急がずゆっくりと行ってください。
- ③本体を投げ下ろしたり、重いものを載せたりしないでください。フレームが変形・破損する恐れがあります。
- ④組立後は強風対策としてペグや砂袋などでしっかりと固定してください。暴風雨・雪等の荒天時のご使用はお控えください。テントの倒壊や破損の恐れがあります。

ユニテントワイドのメンテナンスについて

- ◇使用後は、テント布とフレームの汚れを落としてから収納してください。汚れがひどい場合、耐候性・耐久性が悪くなります。使用中も、定期的には中性洗剤の希釈液で汚れやすみをふき取り、洗剤が残らないよう濡れ雑巾等で仕上げ拭きをしてください。シンナーやアルコール類は布やフレームを痛める原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ◇テント布は経年劣化します。傷や穴がある場合はシーラー剤などを使用して補修を行ってください。

- ◇テント布は染色製品のため、色移りやひっつきを予防するため定期的に広げてメンテナンスをお願いします。
- ◇ボルトやネジなどゆるみがないか定期的に確認してください。ゆるみがある場合はお手元のドライバーなどで締め付けてください。締めすぎるとネジが空回りして壊れる場合がありますので適度に締め付けてください。